

# 御所湖随想

H22年8月 No.11

暑い

今年の7月は、全国的に暑かった。ここ5年間の雫石の7月の真夏日を調べてみると昨年までは0～2日しかなかった。しかし、今年は7日もあった。これまでの最高気温の記録は盛岡市で37.2。その気温に近づいた日もあった。今年は、確かに暑いのだ。一昔前まではクーラーは必要ないんではと思えたが、今年は活躍したことでしょう。

御所湖広域公園の来園者と気温の関係を見てみよう。右の図は過去4年間の8月の来園者数と気温の関係だが、上図の乗り物広場は、30を超えるとガタッと減っている。下図のファミリーランドはそれほど急激な落ち込みはない。

ファミリーランドには水遊びのできるジャブジャブ池があるためか。それに引き替え、乗り物広場には汗をかいて動かず遊具がほとんどなので、考えただけで敬遠したくなるんでしょうかね。

翻って、生き物の世界をみると、夏を代表するアサガオでも、直射の強い日は、葉が萎れたようになっているのに気が付きませんか。結果として陽の当たる面積を少なくして避暑をしているんですね。もっとドラスティックに陽射しをよけて

いる植物がいます。それは、マタタビ。マタタビの葉は、真っ白い葉と緑の葉があるんですが、白い葉は、中空になっていてこの中で光が乱反射するので葉が白く見えるんです。その結果、陽射しをよけていることになる。白い葉を透かしてみるとグリーンに見えるので不思議。植物が生きるための光合成はしっかりしているんだ。

広い野原は、明るくて気持ちがいいが、暑くてかなわん。木陰に入れば、少しひんやり。林の中は、薄暗く、適度な水分があり、蒸散している気化熱が奪われているので涼しい。こんな所で昼寝もいいけど、虫に食われないようにご用心を。ヒトが気持ちいいと感じる所は虫だって気持ちいいのだから。

